

平成 16 年 8 月 16 日

## 私さくらんぼ

6月の末頃のことであった。学生ホールに「ワッショイ函館に参加しませんか」という申し込み用紙と、熱気あふれる写真があった。自分自身は、踊りなどは全く持って縁がなく、学芸会の遊戯指導でもできれば避けたいものの一つであった。でも、私の心の中には次の言葉があった。「一年間、せっかくの大切な時間なので、勉強ももちろんだけど、いろんなことに挑戦してみよう。」ゴミ拾いボランティアも、大学院ビデオも、情報機器のお手伝いも全部がそうだけど、自分がやるって言って始めたことってというのは、気持ちのいいものである。というわけで、一枚の申し込み書に、名前を書いて出したことから「さくらんぼ」とのお付き合いが始まった。

7月22日(木)は初めての練習。今までの様子を聞くとさぞ、相当な学生が来るかと思いきや、ポチポチ。と言っても2、30名はいたかな。知らない方ばかりだったけど、青木先生や竹中先生がいて、ご一緒にとしたら、ご両人は写真に専念。踊り練習の最年長（そりゃそうですね。私がこの大学の学生の最年長みたいですから）だったが、若い子達に混じって、汗をかけた。

初めての踊りであったが、教えるのは若い学生向きなのか、とにかく速い。「覚えましたかー？ ハイ、次は～」っていくけど、私はさっぱり。こうなったら踊って踊って数をこなすしかないと思った。暑い夏。そして、蒸している体育館。練習が終わる頃には、身体中汗で、びしょりだった。

23日、26日と、3回位やっていると、だんだん分かってきた。細かいところはまだだめだけど、最初のボックスもわかったし、手の動きもだいぶ滑らかになってきた。個人参加できていた相棒も見つけ、「愛のさくらんぼ」もできるようになって、汗をかくことがだんだん快感になってきた。

いよいよ当日。教育大発午後4時のバスに乗車した。赤十字病院の前から待機場所まで歩くこと10分ちょい。いました、いました、教育大チーム。すばらしい先導者と、共に一緒に練習した顔、顔。そして、「こんなにいるの!？」って思うくらい徐々に部活チームが三々五々集まってきた。待っている時間は長かったが、あちらにもこちらにも衣装を揃えたグループが最後の練習と音楽に合わせて動いていた。それを見ているうちに、ほどよく暑さも和らぎ、涼しい風が吹き、薄暮が迫ってくる時いよいよ出発となった。

8列で黄色と青の半天が交互に並んだわが教育大チーム。ふだん歩くことなどない電車通りの真ん中に広く、列を組んで整列しただけで、気分は晴れ晴れである。沿道の観客の声援も快い。「さあ、教育大、踊るぞー。」のかけ声でパレードが始まった。普段の体育館と全く雰囲気が違う。二色の半被、車の通らない電車通り、涼しい風、そして「教育だー

い。」という歓声。大学生の後ろには附属幼稚園、小学校、中学校、そして養護学校が続き、少しずつなぜか増殖しながら（沿道から急ぎよ参加した学生も多数とのこと）五稜郭へ向けて足を進めていった。

中央病院前を過ぎたあたりから、夕闇が一層濃くなり、私達を照らす照明がひときは目立つようになった。我がチーム熱気はピークに近くなってきた。ビールを観客にふるまわれ、ご機嫌になって踊る者、観客の小さい子と一緒に「さくらんぼ」する者。手を取り合ってスクラムを組みながら、踊り続ける者、若者のパワーが燃焼している。

いよいよ本町交差点。空の青さは消え、先導者の照明、街のネオンが私達を照らした。観客の数は、さらに増し、テレビの生中継あり、審査員席の前を通る緊張感、躍動感。力いっぱい踊って、我が校のチームワークを見せた。大きな歓声と、飛び散る汗と共に道新前交差点でパレードは終了した。

後日、「教育大、サマーカーニバルの部」準優勝という知らせが、学内に走った。自分が個人入賞したと同じくらいに嬉しかった。そんなわけで、ついつい表象式まで取材と称して出かけ、ビデオ撮影をしてきた。踊りを教えてもらった北川さん、清水さんに、「踊り教えてもらってありがとうね。入賞おめでとう。」と声をかけながら、喜びを共にした。

自分は、踊りとは無関係だと思っていた。ましてや大学生と一緒にという世代の違い、体力など、迷ったけど、今思うのは「出てよかった。楽しかった。感動できた。」っていうこと。それは、もしかしたら当日参加した学生より強いかもしれない。私は、最初覚えられなくて、練習はプール当番の一回を除いて休まないで、暑い体育館でいつもいつも汗を流したからだと思う。

みなと祭りとは自分には縁がないものだとおもっていたが、どこにどんな楽しみがあるかわからないなあと思った。「来年も院生の身分はあるんだなあ。」踊りは変わるんだろうなあ。でも踊りは覚えられるかなあ。などと思いながらもまた踊りたいなという気持ちでいっぱいである。

4953 佐々木 朗  
学校教育専修